

第3期京丹波町子ども・子育て支援事業計画の 策定について（答申）

令和5年10月4日付けで諮問を受けました「第3期京丹波町子ども・子育て支援事業計画の策定に関する事」について、以下のとおり答申します。

京丹波町子ども・子育て審議会では、新たな計画策定に向けて令和5年度及び令和6年度の2箇年で会議を8回開催し、議論を積み重ねてまいりました。その成果を織り込んだ第3期京丹波町子ども・子育て支援事業計画（案）は、委員一人ひとりの子どもと子育てに対する熱い思いの結晶と言えるものです。

この第3期計画案では、第2期計画のキャッチフレーズ“かかわり愛（合い）、かまい愛（合い）、つながり愛（合い）”の子育て環境づくりをさらに前進させるため、新しく“つたえ愛（合い）”を加えました。京丹波町には、地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを温かく支えるコミュニティが根づいております。しかし近年、子どもや家庭をめぐる課題が複雑・多様になり、つながりの希薄化が懸念されます。本町の強みである“人と人とのつながりの強さ”をさらに高め、互いの信頼のもとに必要な情報を真に必要な人へ届けていく“つたえ愛（合い）”をはじめ“4つの愛（合い）”のもとで地域の絆がいま一度強まり、広がることを期待します。

つきましては、計画の基本理念である「広げよう 地域の輪 みんなで子育てするまち 京丹波」の実現に向けて、畠中町長の強い思いとリーダーシップで邁進いただき、子ども・子育て支援施策がより一層充実していくことを切に願い、答申といたします。

令和7年2月10日

京丹波町長 畠 中 源 一 様

京丹波町子ども・子育て審議会
会 長 明田 良子